



草 笛

教育目標

～生氣広野に充ちる北の大地に立ち～

1. 考えを深め表現・創造する人間
2. 心豊かに思いやりを実践する人間
3. 自らをきたえたくましく生きる人間

帯広市立帯広第七中学校 学校だより

No.7 令和元年 7月 5日発行

見せる・伝える

校長 小玉 功

中学校生活の楽しみのひとつである部活動。3年生の多くにとって、この中体連が3年間の取組に対する集大成の場となります。放課後のグラウンド、廊下、体育館を見ていると、最後の中体連にかける3年生の姿がとても印象的です。

少し昔の話ですが、15歳にして「天才少女」として脚光を浴びていたアメリカのある陸上選手がいます。この少女の練習は、質・量ともに、大変なものでした。その練習の厳しさに対してメディアの記者が質問すると、次のような答えが返ってきました。

「私は自分が好きで走っているのであり、やらされているのではないわ。いやならやめる。その選択の自由は、私にあるもの。私は強くなりたい。だから人より練習する。私が決めたことに私がいやになるはずがないでしょ。」

その後、彼女は、「女王」と呼ばれ、世界の頂点に立ちました。当時、まだまだ幼さを残した15歳の多感な少女のインタビューでしたが、この思いをその後も10年にわたってずっと持ち続けたからこそ、世界の頂点に立てたのだと思います。

「やらされている」のではなく、目標を設定して「自分からやる」。その事実がどんな時、どんな場でも大切です。どんな競技も、一瞬一瞬で試合の勝敗が左右されていきます。3年生は、中学校に入学して自分の意志で部活動に入り、放課後そして週末の何百時間という練習を、この最後の中体連の試合の一瞬のために費やしてきたはずです。親、先生、先輩、仲間、後輩などの様々な支えがあって、今ここにこうしてユニフォームを着て立っているのだと思います。その自分に対する努力の過程、支えてくれた人たちに対する感謝の気持ちをしっかりと表現しきる試合であって欲しいと思います。勝ち負けはもちろん大切な要素ですが、これまで積み重ねてきたものをしっかりと表現しきる、出し尽くすことが何よりも大切なことだと思います。試合終了、ゲームセットの時に、「やりきった。悔いはない。よかった。」自分を褒めてあげられる、周りの人々すべてに感謝できる、そんな姿を見せて欲しいと思います。勝ち負け以上に、その姿を期待しています。頑張れ七中生！

七中生の活躍！

◆帯広市中学校夏季体育大会（期日 6月29日、30日）

ソフトテニス	男子個人戦	初戦敗退	ペア	二回戦敗退	ペア
		ベスト16	ペア	ベスト8	ペア
	男子団体戦	予選リーグ	2位		
		低学年の部	予選リーグ	4位	

バドミントン	女子個人戦	シングルス	初戦敗退		
		ダブルス	初戦敗退	ペア	小室・遠藤ペア
			ベスト16	ペア	
	女子団体戦	学校代表	ベスト8		
		2部	予選リーグ	2位	決勝トーナメント
		Jr	トーナメント	一回戦敗退	

野球	1日目	西陵中	3-0	帯広第七・清川中
	2日目	帯広第四・大空中	1-3	帯広第七・清川中
		帯広第二中	1-9	帯広第七・清川中

バレーボール	一回戦		敗者戦	
		七中 0	$\left[\begin{array}{l} 18-25 \\ 17-25 \end{array} \right] 2$ 一中	$\left[\begin{array}{l} 25-15 \\ 25-22 \end{array} \right] 0$ 川西中

◆第65回全日本通信陸上競技大会十勝会場（期日 6月29日）

女子100m	14秒86	共通女子400m	第3位	1分13秒73
--------	-------	----------	-----	---------

◆第74回北海道選手権水泳競技大会（期日 6月30日）

200m平泳ぎ	第8位	2分34秒02
---------	-----	---------

全十勝大会の予定

全力全開！頑張ろう！

- ◆野球 7月 6日(土) 帯広の森野球場 11:00～ 対 本別・勇足中学校
- ◆バドミントン 7月 6日(土) 芽室町総合体育館 9:30～ 対 浦幌中学校（団体戦）
※この日は団体戦と個人戦(初回戦～Best32決定まで)を行います。
- ◆ソフトテニス 7月 7日(日) 帯広の森テニスコート 個人戦 9:00～
13日(土) 帯広の森テニスコート 団体戦 8:40～ 対 一中・川西中
- ◆バレーボール 7月13日(土) 帯広市総合体育館 9:00～ 対 翔陽中学校

経営方針

社会に出る力を身に付けた自立した人間としての資質を「認め、支え、高め合う教育」と「師弟同行」によって達成していく。

令和元年度

帯広第七中学校の教育

令和元年 7月 5日発行

情報発信号

スマートフォン等、インターネットにつながる情報端末の所有、使い方調査より

スマホやケータイはコミュニケーションツールとしてだけでなく、動画や音楽を楽しんだり、調べものや買い物など、様々なことができるとても便利な道具です。一方、スマホやケータイに関連したトラブルや事件もたくさん起きています。最近では、多くの企業が職員の採用時に、過去にインターネット上で問題を起こしていないかを調べ、問題を起こした過去のある人物は不採用にするなどしているそうです。

本校でも、スマホやケータイによる生徒指導上のトラブルや事故が毎年のように発生しているため、生徒の情報端末の所持率や使い方等を調査し、その後の指導に活かしています。今年度の調査が終わりましたので、その概要をお知らせします。

1 家庭で自分が使うことのできる通信機器の所持率

	自分だけで使えるものを持っている	家族共用を持っている	持っていない
1年生	87.5%	12.5%	0%
2年生	90.0%	5.0%	5.0%
3年生	92.3%	7.7%	0%

※ 9割の生徒が、自分専用で使える通信機器を持っています。

※ 通信端末の種類は、ゲーム端末、iPad/タブレット、スマホ、iPod、ガラケー、PC

2 普段、通信端末を使って通話やメール、インターネットをする時間

	3時間以上	2時間以上	1時間以上	1時間未満	やっていない持っていない
1年生	25.0%	0%	37.5%	25.0%	12.5%
2年生	5.0%	35.0%	35.0%	20.0%	5.0%
3年生	19.2%	23.1%	42.3%	7.7%	7.7%

※ 1年生で2割を超える生徒が、2年生で4割の生徒が、3年生では4割を超える生徒が、普段2時間以上通信端末を使って通話やメール、インターネットをしているようです。

3 通信端末の使い方について、家の人と約束したことを守っているか

	守っている	守っていない	約束はない
1年生	57.1%	0%	42.9%
2年生	63.2%	0%	36.8%
3年生	75.0%	0%	25.0%

※ 情報端末の使い方について約束がない家庭が1年生で4割以上、2年生で4割近く、3年生で2割5分と非常に高い数値となり、非常に危険と感じました。

※ 18歳未満がスマホやケータイを利用する際、原則としてフィルタリングの利用が義務づけられています。

4 まとめ

○ 未発達で、社会的責任等の自覚が成長途中にある子どもたちです。成長途中であるからこそ、新しいことにどんどん興味を持ち、スマホやインターネットをものすごいスピードで使いこなしていきます。一方、大人たちは、スマホやインターネットの危険性を知っているからこそ、慎重に使います。大人が、子どもたちに便利さとともにしっかりと危険性も教え、家庭でのルールを決めて守らせることやフィルタリング等で守ることが大切だと思います。

○ インターネットに何気なく投稿した内容をきっかけに、いじめや犯罪、肖像権の侵害等、様々な危険に巻き込まれてしまうことがあります。またその投稿内容は将来にわたって消えることなく、自分の知らないところまで広がってしまう可能性があります。今の自分、将来の自分を守る、大切にするためにも、トラブルを大きくしてしまうようなスマホやインターネットの使い方をしていないか、ご家庭で再確認していただければと思います。「自分がされたら嫌なことは、絶対相手にしないこと」が大切です。

○ インターネットやゲームは、ちょっとした息抜きで始めたつもりが、いつの間にか日常生活や健康に支障をきたすほどのめり込んでしまうことがあります。夜9時以降の使用や一日に2時間以上使っている子どもには、改めて使い方、使用時間についてルールを確認していただければと思います。